

# 公の施設目標管理型評価書（新潟市北区文化会館）

施設名	新潟市北区文化会館		
管理者名	NKS・ハビスカとよさか共同事業体	指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日
担当課	北区産業振興課		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目1番5号		
根拠法令	—		
設置条例	新潟市北区文化会館条例		
施設概要	建築年 平成22年 敷地面積 24,520平方メートル 建築面積 4,427平方メートル 延床面積 4,708平方メートル 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造・鉄筋コンクリート造）2階建 ホール（収容人員549人。ほか身障者スペース8席）、練習室4、楽屋3、保育室、会議室 他 敷地内施設 駐車場（314台）、園路、広場、植樹帯など		

施設設置目的
音楽、演劇等の鑑賞又は創作活動の機会を提供し、もって市民の芸術文化活動の発展に資するため、新潟市北区文化会館を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1) 文化事業                      「市民の芸術文化活動の発展」という設置目的を果たすため、常に新鮮でかつ安定した文化事業の運営に努める。  <b>【重点事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた音楽、演劇等の舞台芸術の鑑賞機会の提供</li> <li>・創作活動の機会の提供と参加の促進</li> <li>・地域に根ざした文化の発信</li> <li>・文化を通じたひとづくり・まちづくりによる賑わいの創出</li> </ul> <p>(2) 施設運営                      貸館に関する業務、ホール業務及び館内業務を行う。  <b>【重点事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館に関する業務の円滑化を図るため、利用希望者の使用条件等を勘案し、公の施設として公平性に配慮しつつ必要に応じた調整</li> <li>・舞台機構設備、舞台照明設備、舞台音響設備等及び備品の日常点検並びに管理を行うとともに、それらの操作に精通し、利用者に対し安全で、高度なサービスを提供</li> <li>・来館者の満足度を向上するため、様々なサービスの提供</li> </ul> <p>(3) 施設管理                      施設設備や舞台設備などの施設管理については、日常点検を行うなど、常に良好な状態及び性能を維持するとともに、効果的かつ効率的な管理を行う。  <b>【重点事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備等の保守管理業務</li> <li>・清掃業務等の環境維持管理業務</li> <li>・効果的かつ効率的な管理運営執行体制の確保</li> <li>・専門的職員の配置</li> <li>・適切な執務体制</li> <li>・人材育成の取組</li> </ul>

令和3年度 目標管理型評価書

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	情報発信	情報誌の発行 年6回以上	志賀市報(紙)・市報(電子)内情報誌を年12回発行 ・HPにて随時情報発信	A	指標を大幅に上回っている
	基準稼働率の達成	ホール・練習室等の稼働率 年間65%以上	ホール・練習室等の稼働率68%	B	
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで「満足」が90%以上	施設評価99% スタッフ評価99%	A	高い満足度を維持している
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には7営業日以内に回答	関係機関と連絡を取りながら即日から7営業日以内に対応	B	
	文化事業の実施	管理・運営に関する基本理念、方針等(1)文化事業の【重点事項】に記載の4項目に合致する指定管理文化事業を以下のとおり実施 事業数：12事業以上 事業費(支出ベース)：23,100千円以上	・鑑賞事業9事業 + 創造事業7事業 + 普及育成事業2事業 + 交流発信事業7事業 = 合計年間25事業 ・総事業費は22,632千円となり、目標額に届かなかった。	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した事業もあり事業費の目標を達成できなかった
財 務	施設管理運営経費の削減	管理運営経費を年間79,505千円以下	新型コロナウイルス流行拡大に伴う会館利用者の減少等もあり、光熱水費の一定の削減に成功したが年度後半の電気・ガス料金の値上げにより削減幅が目減りした。収支を勘案した上で、経年劣化対応修繕・修理や備品更新等に努め、市民サービス向上・安全安心に投資したが、管理運営経費は79,849千円と、予算80,665千円内に収めることができたが、評価指標目標額である79,505千円を若干オーバーした。	C	光熱水費の削減に努めたが、年度後半の電気、ガス料金の高騰により、目標を達成できなかった
	適正な財政運営	収支計画に基づく収入の確保及び経費の執行	収入予算103,831千円。収入決算103,698千円。 支出予算103,831千円。支出決算102,480千円。 文化事業収支は、新型コロナウイルス流行拡大に伴う文化事業公演中止によるチケット収入減があったが、公演経費も減ったことから、総額の収支差は1,218千円の黒字となった。	B	

業 務	安全管理責任者の配置と安全確保体制の確立	常時、危機管理責任者を配置し、防災・避難訓練を年2回以上実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理責任者:高坂館長 防火管理者:橋本副館長</li> <li>・2/15、3/24の2回防災避難訓練を実施。日常的な危機管理意識訓練を励行させて、消防機関と情報交換するなど、適切な危機管理を実践している。</li> </ul>	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	迅速な対応と、再発防止策の策定	6/4水道メーター異常指針。2/27来館客行方不明。3/15コンピューターウイルス感染、3/16地震発生等それぞれの事件・事故等に迅速に対応した。	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	安全、節約等考慮しつつ、その他業務仕様書等に定める事項を遵守し、市民視点で仕様書に定められた事項以上の業務執行を心がけ実施した。	B	
人 材	職員研修の実施	外部・内部研修の実施 1人あたり合計2回以上	毎朝礼時のOJTの実施はもちろんの事、外部研修会への参加を計画していたが、新型コロナウイルス流行拡大に伴い各種研修会がほぼ中止となり、例年のような参加実績には至らなかった。	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した事業もあり事業費の目標を達成できなかった各種研修会が中止になり、目標を達成できなかった
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	労働関係法令の遵守に努め、労働環境関係の充実に努めた。適正な労務管理改善を図り、労働関係法令を遵守した。	B	

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和3年度の文化事業については、これまで同様市民に喜ばれる音楽・演劇などの「鑑賞事業」、少年少女合唱団やジュニア吹奏楽団演奏会などの「創造事業」、区役所ロビーコンサート、豊栄総合体育館でのアウトリーチなどの「普及育成事業」、北区内で活動する市民サークルの発表会である、北区音楽祭などの「交流発信事業」に取り組んだ。全33事業を計画したが、前年度同様新型コロナウイルスの影響で8事業が中止に追い込まれたのは、誠に残念であった。

鑑賞事業で入場者が多かったのは、「エリック・ミヤシロビッグバンド」(6/13 入場率93.1%)、「研ナオココンサート」(11/7 入場率98.8%)で、県外から多数の来場者があった。創造事業では、地元市民劇団「葛の葉」との共催「我が子・ヒロシマの子」(7/25)もトピックの一つであった。

一方課題としては、ジュニア吹奏楽団の団員数である。小学生から大学生まで幅広い年齢層で構成された新潟市内の劇場が運営する唯一の楽団だが、コロナ禍もあり、団員数が伸び悩んでいる。次年度は吹奏楽部を持たない地元中学校などに赴き、楽団のPRに力を入れる。

次に施設運営においては、新型コロナウイルス拡大で、9月に14日間の休館や1月21日から3月6日までのまん延防止等重点措置期間のあおりを受けた結果、年間稼働率は68%に留まった。

施設管理においては、施設の老朽化が更に進んでおり、修繕箇所・件数が増えている。その中で急を要するのは、外壁のひび割れである。雨水が染み込み内壁にカビまで生えている状況は放置すべきではない。一刻も早い処置を講じていただきたい。

清掃業務においては、新型コロナウイルス感染症予防に目を光らせ、各諸室の消毒作業を徹底した。引き続き利用者が安心して使用できるような衛生管理に取り組む。

総合評価(所見)

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業があったが、稼働率や文化事業の実施数は目標を達成した。文化事業では、各種ガイドラインに沿って、安全安心に配慮しながら多くの事業を手掛けており、優れた内容で創意工夫を重ね発展させている。鑑賞事業では入場率の高い公演があり、文化会館に親しんでもらうきっかけ作りとして、一定の効果があつた。

また、2015年に発足した「北区ジュニア吹奏楽団」は、団員数の伸び悩みが課題であるが、吹奏楽部を持たない中学校へ赴き、PR活動を行うほか、定期演奏会の開催し興味を持ってもらえるよう取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症による影響が続くなかでも、市民ニーズを的確に捉え、地域の賑わい創出とともに文化芸術活動の発展に貢献していただいた。